

# 自己紹介



1

# 自己紹介

# 自己紹介



名前	岸田 慎之介
大学	同志社大学大学院 修士 1 年
研究	学部時代→車両の通信の効率化 大学院→ネットワークアーキテクチャの提案（仮）
ハマっていること	Youtube, ラーメン, 水を飲む

2

# 個人開発

# スキルセット・言語系

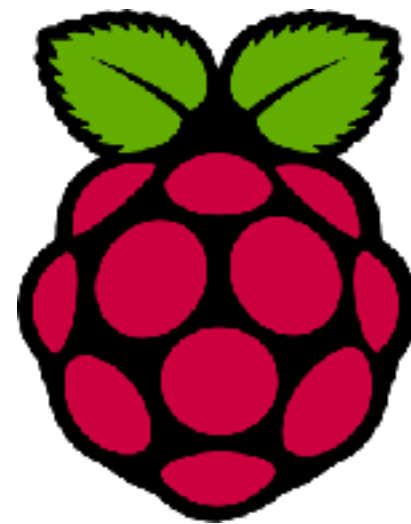
## 言語



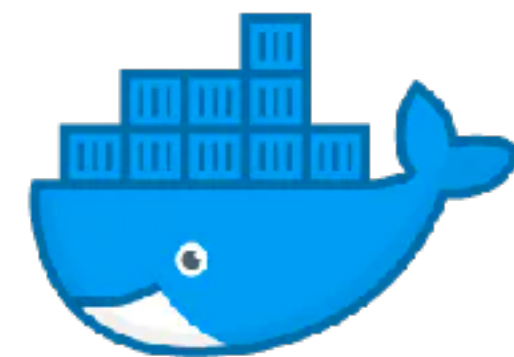
JavaScript



## ミドルウェア



## クラウド・コンテナ



docker



# スキルセット・その他

Git



OSS(少し)



Atlassian (少し)



# 開発経験（個人）

## 模試の結果から高校を調べるWebアプリ

### 動作：

点数、偏差値、平均点を入力  
点数→偏差値、偏差値→点数を動的に表示  
都道府県を選択すると高校名を表示

### 技術：

フロント：Vue.js（少しだけ）  
サーバ：Go言語  
DB：PostgreSQL  
クラウド：Heroku

点数 偏差値 平均点

68

53.6

47.2

点数から偏差値

偏差値から点数

点数が 67 点になると

偏差値は

53.5 になる

宮城県

check

School_name	Url
尚綱学院高等学校	http://sh.shokei.jp/
聖和学園高等学校	http://highschool.seiwa.ac.jp/
気仙沼高等学校	https://kesennuma-h.myswan.ed.jp/
宮城県工業高等学校	https://miyagi-th.myswan.ed.jp/

# 開発経験（個人）

技術：

フロント：Vue.js（少しだけ）

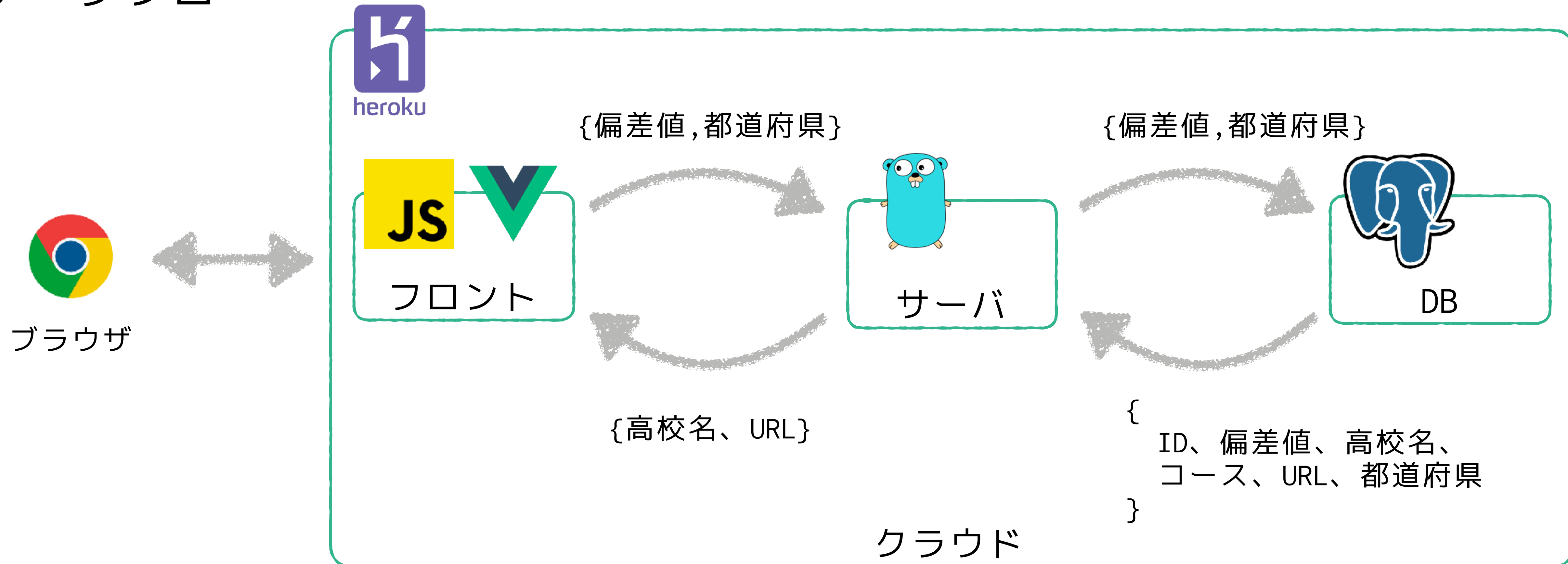
サーバ：Go言語

DB：PostgreSQL

クラウド：heroku

模試の結果から高校を調べるWebアプリ

データフロー





# 開発経験（個人）

## 模試の結果から高校を調べるWebアプリ

なんで作ったのか

- アルバイトの塾で偏差値の話題が挙がる
- 偏差値の式を見たらいけるんじゃない？
- Webフレームワークを使ってみたかった

$$T = \frac{10(x - u)}{z} + 50$$

T: 偏差値      u: 平均点  
x: 点数      z: 標準偏差



今後

- 塾長に使ってもらって意見をもらう
- 高校名を検索できるようにする
- herokuからAWSへ移行
- Dockerを使う
- UIをきれいにしたい



# 開発経験（個人）

## 画像内の文字を返信するLINE Bot

動作：

トークに画像を送信  
OCRで文字を認識  
結果をトークへ返信

技術：

サーバ：Go言語  
クラウド：Heroku・AWS



# 開発経験（個人）

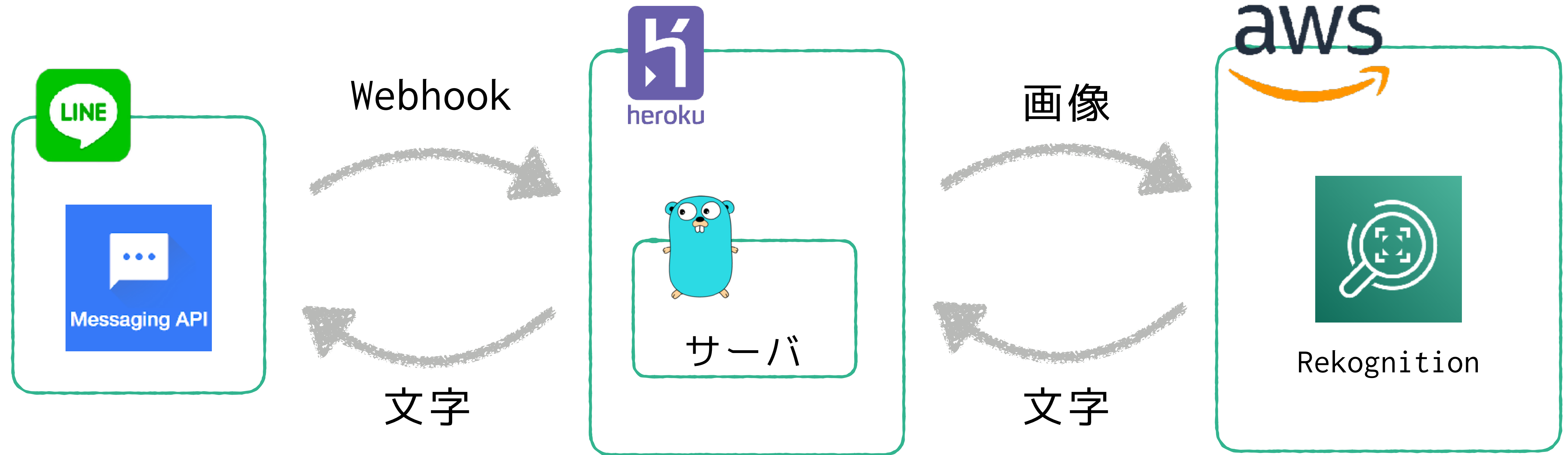
画像内の文字を返信するLINE Bot

データフロー

技術：

サーバ：Go言語

クラウド：heroku・AWS





# 開発経験（個人）

## 画像内の文字を返信するLINE Bot

### 目標

- 食料品の裏などの原材料名を文字認識する
- 宗教上食べることが出来ないものを判定する

### 現状

- 日本語の文字認識が出来ない
- OCRのサービスの調査（LINE BRAINすごい）
- サーバをAWSへ移行





# 開発経験（個人）

ラズパイを使って玄関の鍵を自動で開け締めをする（停滞中）

動作：

- ICカードをカードリーダーにかざす
- 登録したカードなら解錠
- ドアが閉まったら自動で施錠

技術：

Raspberry Pi

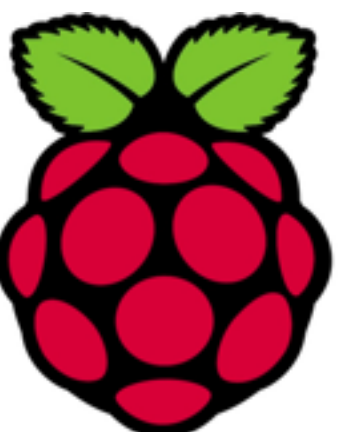
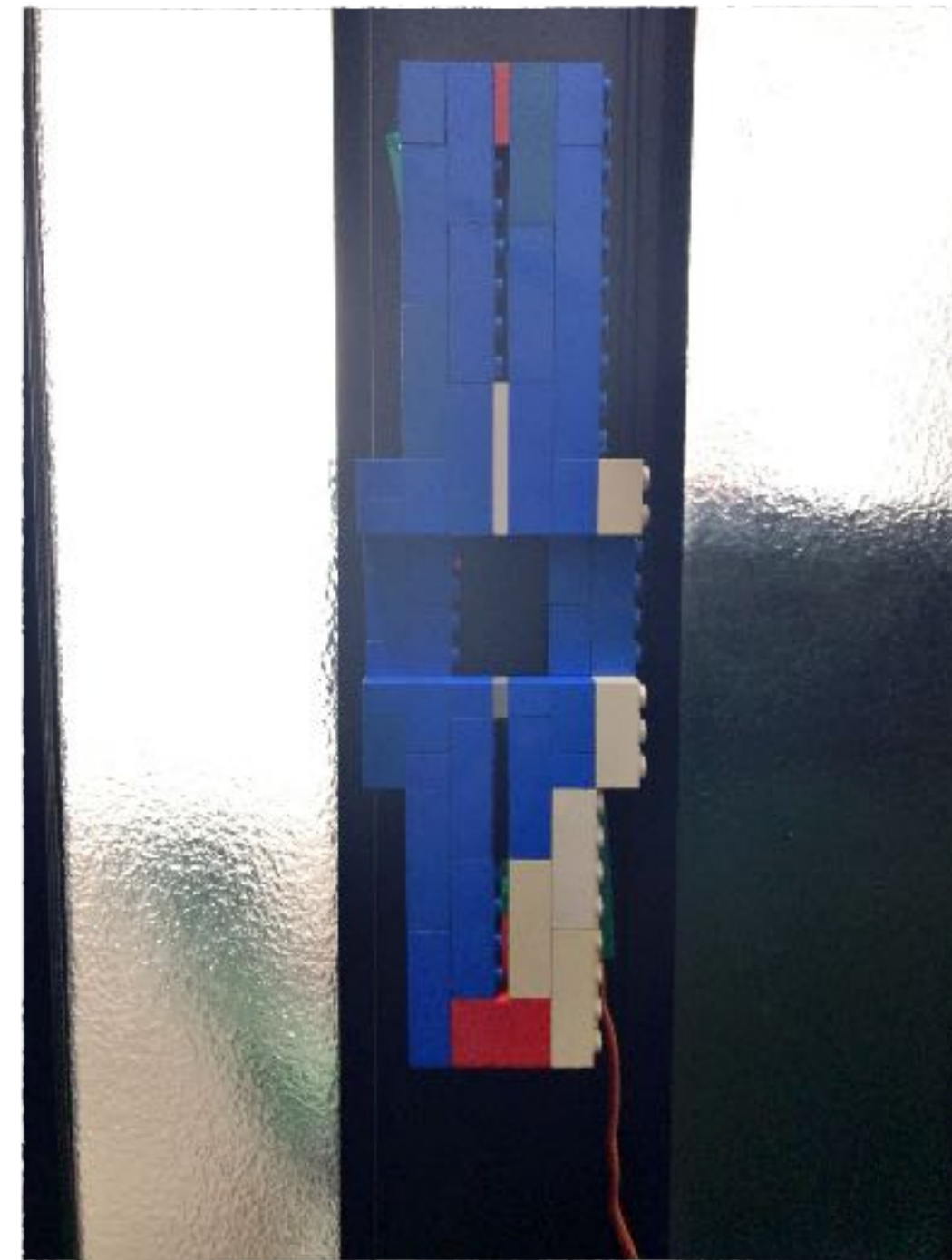
Python

超音波距離センサhc-sr04

サーボモータ

ICカード

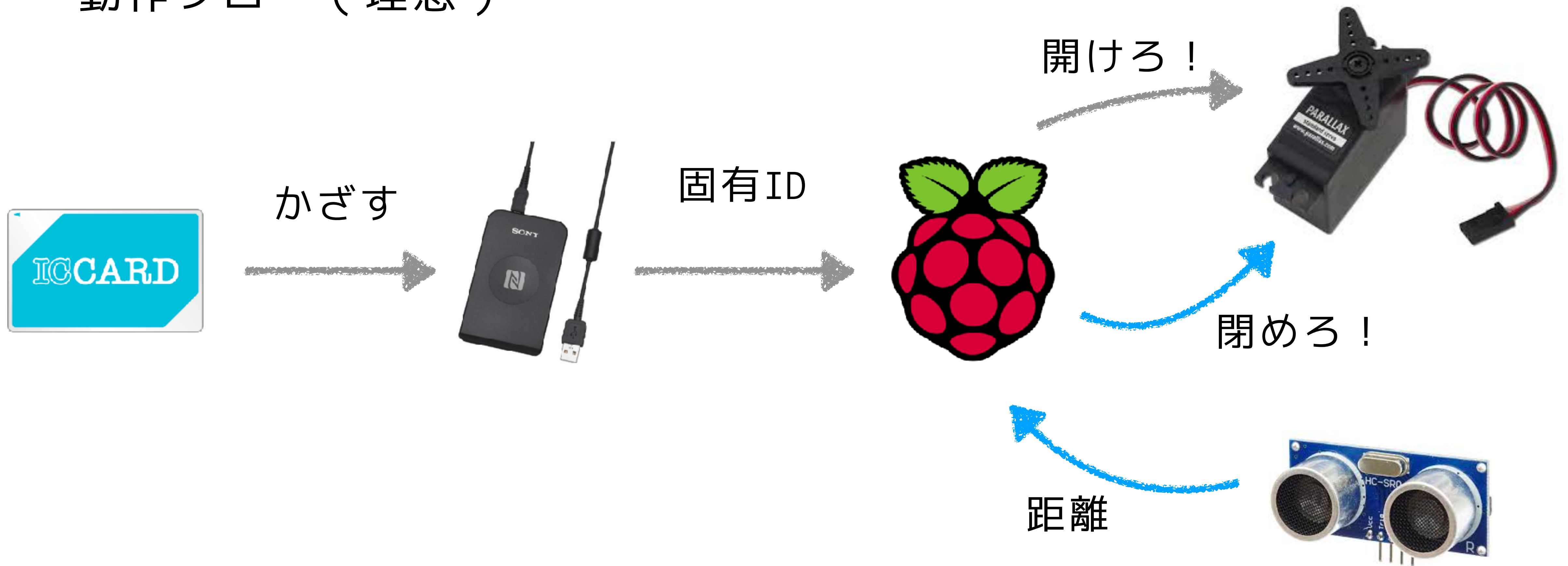
Sony PaSoRi（パソリ）



# 開発経験（個人）

ラズパイを使って玄関の鍵を自動で開け締めをする（停滞中）

動作フロー（理想）





# 開発経験（個人）

ラズパイを使って玄関の鍵を自動で開け締めをする（停滞中）

なんで作ったのか

- 鍵を開けるのが面倒くさい
- ICカード便利やな～
- ラズパイ使ってみたい

現状

- 自費で買ったラズパイがショートして使えない（今は研究室のやつを使用）
- 玄関にあるコンセントの位置が微妙
- そもそも開け締めができるのか？

3

研究

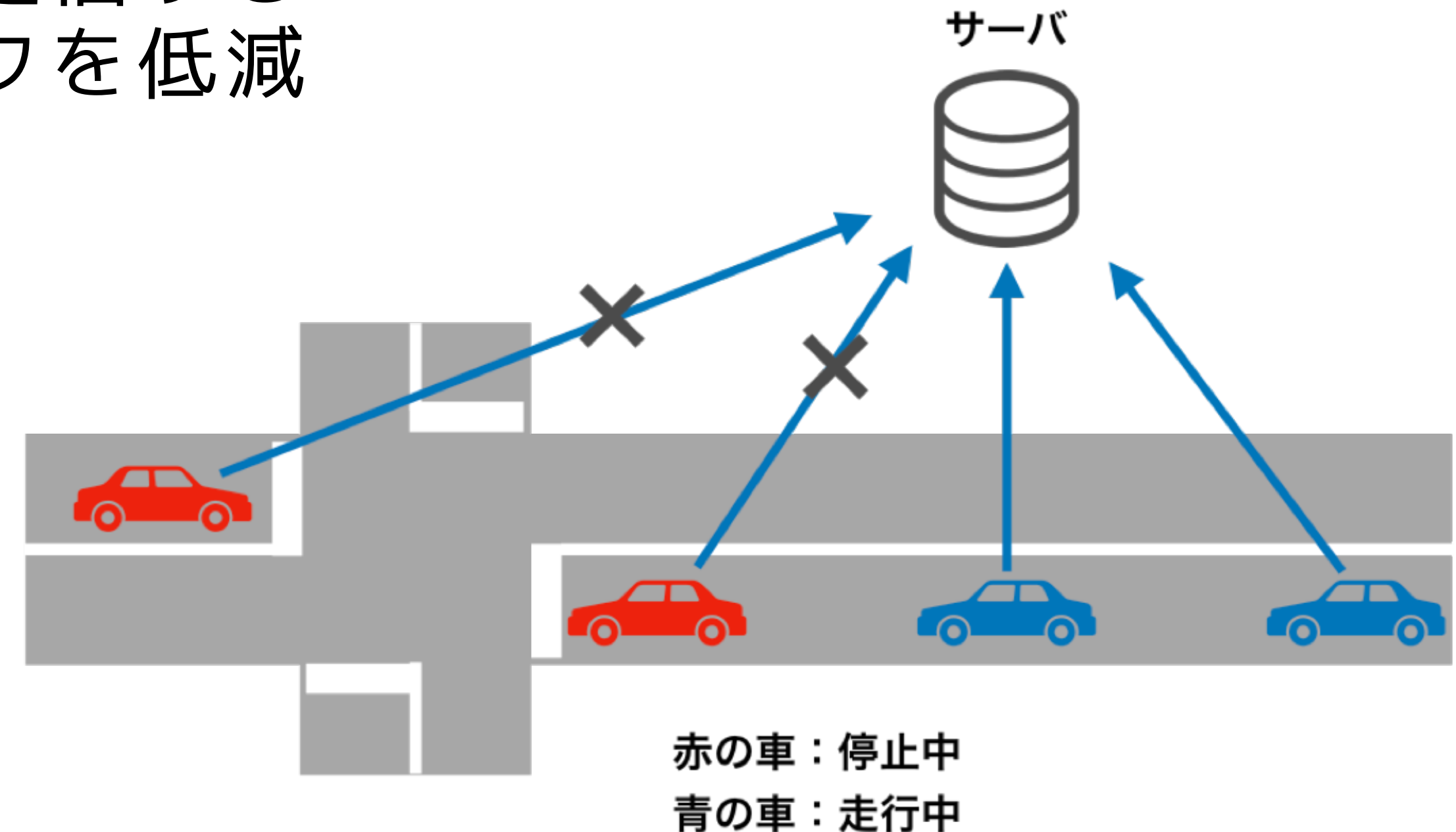
# 研究（学部）

タイトル：車両の走行状態を利用した効率的車両情報送信手法

概要：

車両の状態（速度、位置など）によって通信する  
頻度やデータ量を変化させてトラフィックを低減

DICOM02019にて発表





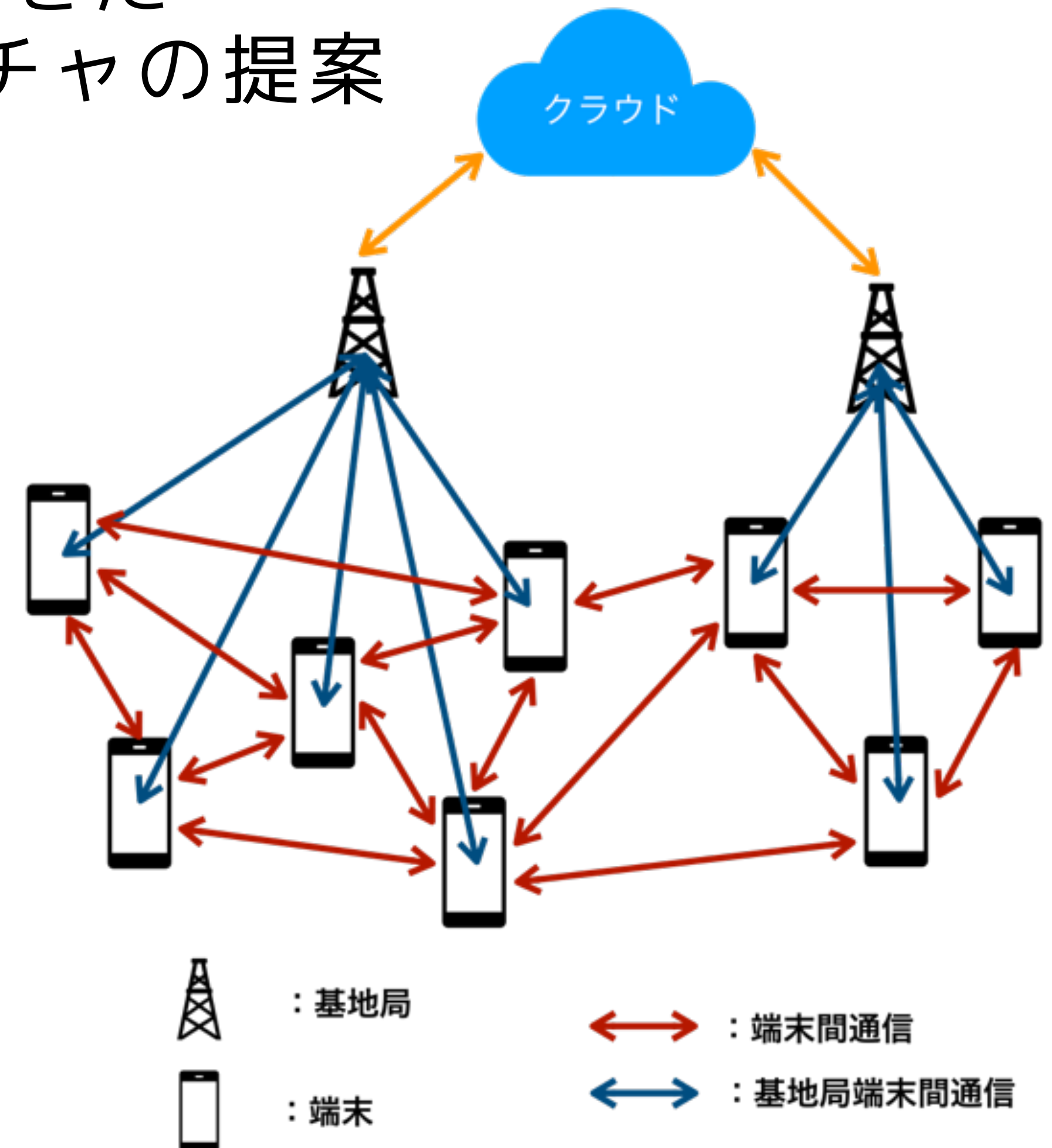
# 研究（大学院・進行中）

タイトル：端末通信と基地局通信を統合させた  
ネットワークアーキテクチャの提案

概要：

端末間の通信と基地局間の通信を  
ネットワーク仮想化技術を使い、  
一つのネットワークにする

関連研究を調査中

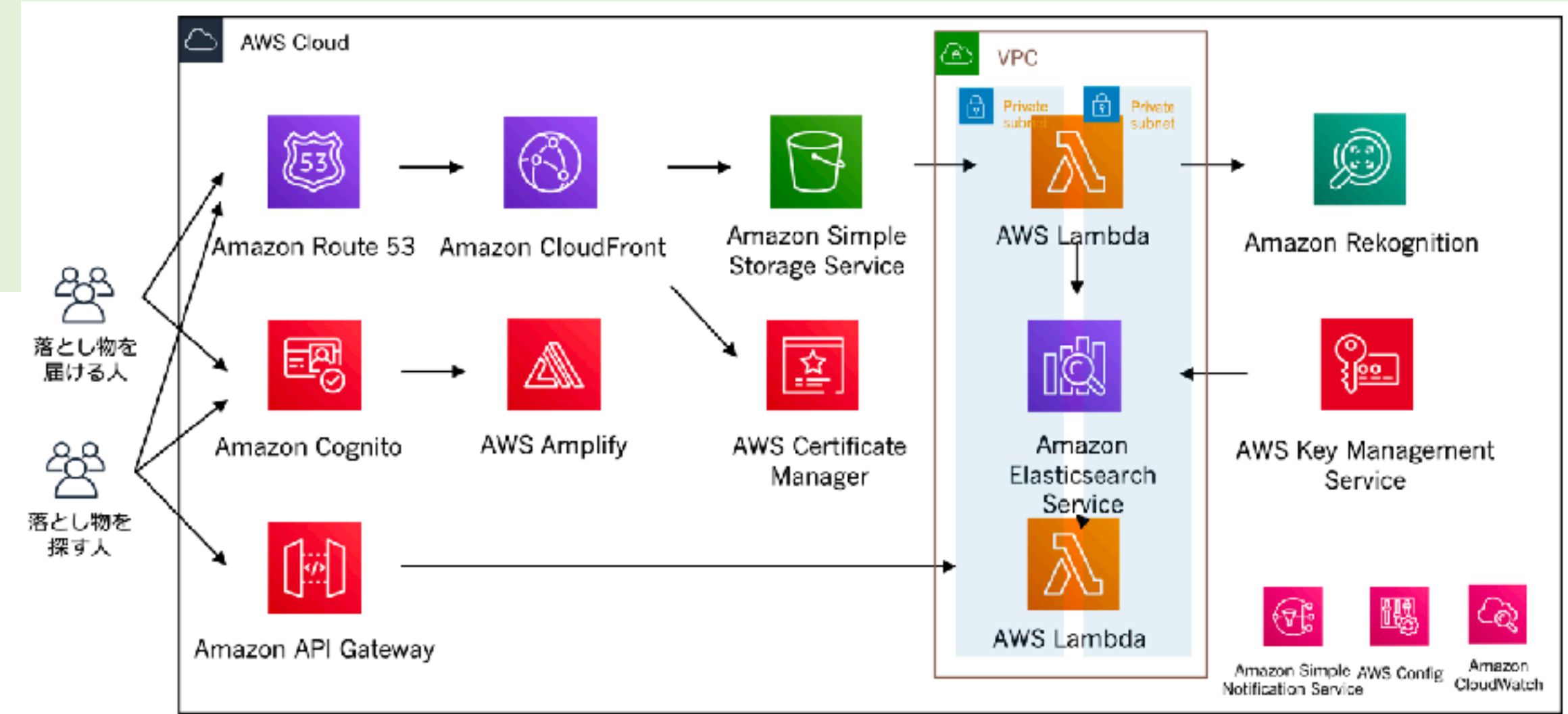


4

インターン

# 開発経験（インターン）

## AWS 5days



- ◆ チームを組んでAWSのサービスを使ったアプリケーション開発
- ◆ エンジニアに向けて発表も行いました

優勝しました

## 学んだこと

- ☑ エンジニアがどのように働いているのか
- ☑ 入社してからのキャリアパス
- ☑ 知らなかったサービスへの理解





# 開発経験（インターン）

## LINE Kyoto 5days

- ◆ LIFF(LINE Front-end Framework)を使ったアプリケーション開発
- ◆ アキネイターののようなものをチームを組んで作りました

## 学んだこと

- ☑ わからない部分を聞くと秒で解決できるエンジニアだらけ
- ☑ LINEのエンジニアの働く様子
- ☑ LINEの開発雰囲気



# 開発経験（インターン）

## 楽天 1month

- ◆ 就業型インターンで内容はあまり言えない（笑）
- ◆ CI/CD周りをやりました

## 学んだこと

- ☑ 開発を行うためにどのようなツールを使っているのか
- ☑ 日々の業務の進め方
- ☑ 英語は大変（ミーティングは英語でした）